

！気を付けたい 家庭での事故

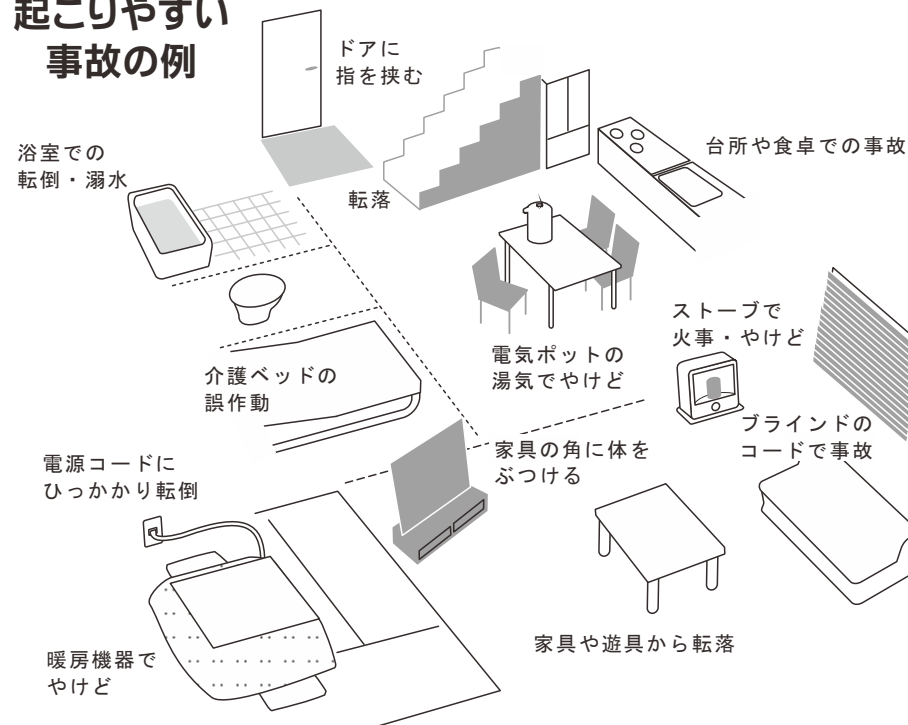


家の中で起こる事故

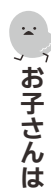


日常の身近な事故はいたる所で起こります。家の外に出ると危険が多いと思われがちですが、実際には屋内での事故が多発しており、家の中に居れば安全であるとは限りません。

起こりやすい事故の例



小さいお子さんや高齢の方は注意が必要です



「ちょっと目を離した際に」
 お子さんは絶えず活発に動き、好奇心旺盛なので、日常生活の中での危険を数え上げたらきりがありません。また、お子さんの皮膚は薄く、ケガ・やけどの頻度が高いため大人より気を配る必要があります。



「うっかり、油断していて」
 「気が付かない、見えない」
 高齢の方の事故は8割近くが家の中で起きています。若い時なら、足を滑らせたたり何かにつまずいても、すぐに体勢を元に戻せたかもしれません。しかし高齢になると筋力やバランス感覚が衰え、そのまま転倒してしまう可能性が高くなります。

年齢を問わず、家庭で気を付けたい事故はまだあります

宣 言
 明るい笑顔 すぐ返事 伝える元気

かちどき薬品 ホームページ
げんき君 健康に関する情報がいっぱい
<http://www.genki1616.co.jp>

かちどき薬品グループ



こんなにある

家の中のあぶない!モノ

ケガにつながるから危険!

- ❗ 尖っている
ハサミ
アイスピック
- ❗ 鋭い
裁縫の針
包丁
カッターナイフ
- ❗ 細長い
箸
爪楊枝
やきとりの串
歯ブラシ
ヘアピン
耳かき
綿棒

よく使う日用品や口に入れるモノが事故につながることも

便利だけど油断すると危険!

- ❗ 高温になる
使い捨てカイロ
ヘアドライヤー・アイロン
暖房器具
調理家電
充電器 やけどや火災に注意
- ❗ 自動で動く
洗濯機
お子さんが中に入って出られず窒息
ロボット掃除機
作動中にストーブを倒して火災
家庭用マッサージ器
着ている衣類の巻き込み
挟まれて骨折
圧迫しすぎて内出血

口に入れると危険!

- ❗ 小さい
ボタン形電池
硬貨
ペットボトルのフタ
タバコ
小さいお子さんが口に入れて飲み込んだり喉に詰まらせる
- ❗ 飲食物と間違える
ペットボトルへの詰め替え
飲料の空容器に詰め替えた洗剤などを誤飲

注意して使わないと危険!

- ❗ 使い方を間違えると有害
塩素系洗剤・酸性洗剤
混ぜると塩素ガスが発生
防水スプレー
屋内で使用して吸い込み、呼吸困難
スプレー缶
火気の近くで使用して引火や爆発
- ❗ 劣化したり壊れている
ビビの入ったお椀・皿
コードが傷付いた電化製品

居間のあぶない!

❗ つまずいて転倒
・段差
・コタツ布団
・じゅうたんやマットの端
・部屋にあるモノ

❗ 床で滑って転倒

❗ 窓やベランダから転落

❗ 家具の角にぶつかる

他の部屋や廊下との段差は最もつまずきやすい所

じゅうたんやマットの端など、高齢の方はわずかな段差でも足がひっかかってつまずく原因に

電化製品のコードや床に置いた新聞や書類で足をとられることがあります

転倒したはずみでぶつかることも

このような対策で事故を防ぎましょう

滑りにくく

☆敷物を工夫する

フローリングなどで滑りやすい床は対策が必要です

スッキリ広々と

☆モノを減らす

床に置くモノを減らすと安全性が高まります

転んだ時に備える

衝撃を吸収する敷物や柔らかい床材に



家具の角にはケガ防止用のクッション材を付けましょう

じゅうたんやマットは端が浮かないように固定するか、滑り止めを付けましょう

電源コードは人が通る所を避け、敷物の下や壁際に這わせましょう

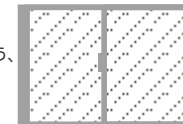
☆バリアフリーリフォームをする

例) 床の段差を解消する
ミニスロープ

窓やベランダからの転落対策を

☆足場を作らない

身を乗り出して転落しないよう、踏み台になるモノは近くに置かないことが大切です



柵を付けたり鍵を掛けることも合わせて考えましょう

動かないようにしっかり取り付ける



台所のあぶない!

kitchen

- ① やけど
- ・コンロの火
 - ・熱い鍋
 - ・オーブントースター
 - ・炊飯器の蒸気
 - ・給湯ポットの蒸気
 - ・電気ケトルの蒸気

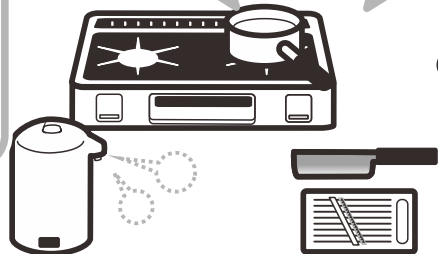
- ① 落下によるケガ・やけど

- ① 包丁やスライサーでケガ
① 皿が割れてケガ・やけど

- ① つまずいたり滑って転倒

近くにたくさんの危険なモノが!

コードに引っかかり、熱い湯をひっくり返してやけどすることも



このような対策で事故を防ぎましょう

調理中は慌てない



コンロの火の服への引火に注意



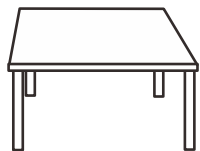
フワフワしていたり毛足が長い服は着火しやすいので気を付けましょう

使いやすい収納&清掃

☆こまめに片づける
使わない調理器具や食材などで散らかっていると、使い勝手が悪く、事故のもとになります

☆汚れたままにしない
濡れた床や落ちている食材で滑って転倒することがあります

落下を防ぐ



引っかかる、引っぱる恐れのあるテーブルクロスや敷物は使わないほうが安心です

小さいお子さんは台所に入れない

☆柵を付ける

調理場は最も危険が多い場所ですが、小さいお子さんには判断ができません



寝室のあぶない!

bed room

- ① 夜中の転倒
・トイレに起きた時など

- ① 就寝中の火事
・ストーブなど

- ① 乳児の窒息
・布団と壁の間に顔が挟まる
・マットレスにうつ伏せ
・重い布団や柔らかい枕

暗い部屋で手すり代わりに家具をつたい歩きしていると...
↓
家具が不安定で動きやすかったりぐらついている場合、バランスを崩して転倒することがあります

パジャマのすそを踏んだり床に置いてあるモノにつまずいて転倒することも...

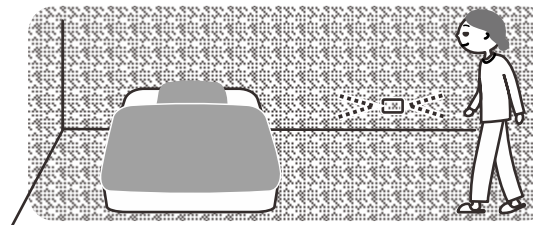


- ① 乳児の転落
寝ている間にベッドから

このような対策で事故を防ぎましょう

通路にモノを置かない

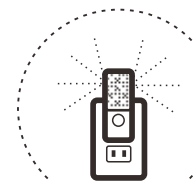
☆広くスッキリと



足元を照らす

☆フットライトを付ける

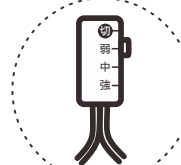
寝ぼけていても歩けるように誘導灯があると安心です



就寝中のやけどや火事を防ぐ

☆ストーブを消す
☆暖房器具の近くに燃えやすいモノを置かない

☆電気毛布や湯たんぽの温度を調整



乳児は寝具に注意

☆柔らかすぎない布団
☆重くない布団
☆隙間をなくす

寝ている間も動くので安全確認が必要です



しっかりロック

浴室・トイレのあぶない!

bath room

❗ 足を滑らせて転倒
・洗い場で
・浴槽内で

頭や体をぶつけたり、浴槽の中で転倒すると溺れることがあります

❗ 浴槽での溺水

ヒートショックで倒れて溺水したり、小さいお子さんが溺れることがあります

❗ 温度差によるヒートショック
・脱衣室や浴室が寒い
・湯温が高い
・トイレが寒い

血圧や脈拍が大きく変動して脳梗塞や脳出血などの深刻な事態になることがあります

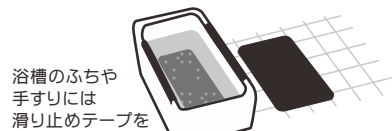
❗ 熱い湯でやけど
湯温を確かめずにシャワーを直接体かけると、高温の湯でやけどしてしまうことも

高齢の方は特に注意!

このような対策で事故を防ぎましょう

滑る所をなくす

☆滑り止めを付ける



浴槽のふちや手すりには滑り止めテープを

洗い場や浴槽の底には滑り止めマットを

リフォームをする

☆手すりを付ける

☆浴槽を浅くする

高齢の方には浅い浴槽が出入りしやすく、心臓への負担も少なくなります



転倒を防ぐにはL字型がおすすめ

温度に注意

☆ヒートショックを防ぐ

浴室・脱衣室・トイレを暖かく



冷えた体は温めてから入浴しましょう

☆小さいお子さんから目を離さない

保護者と一緒に入浴していても目を離さないことが大切です

☆残り湯を溜めたままにしない

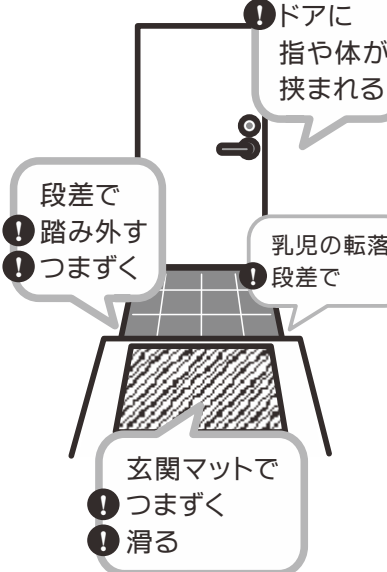
☆トイレでの溺水にも注意

便器を覗いて転落することがあります



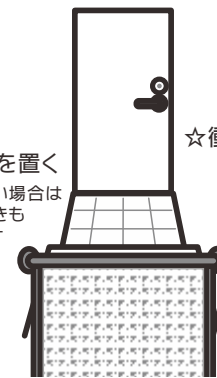
階段・玄関のあぶない!

steps



このような対策で事故を防ぎましょう

☆踏み台を置く
段差が大きい場合は靴の脱ぎ履きも楽になります



☆衝撃を和らげる
マットを敷くなどたたきを柔らかい素材に

☆柵を付ける

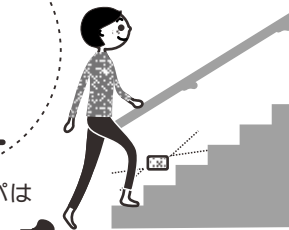
乳児が段差から転落するのを防ぎます

明るく、滑りにくく

手すりを付ける



☆一段一段に滑り止めを付ける
見やすい色や反射するタイプを



☆スリッパは脱ぐ

☆フットライト(足元灯)を付ける
自動で点灯するタイプが便利です

☆階段にはモノを置かない
☆たくさんの荷物を持たない

☆滑りやすい靴下を履かない